

18-03-26

2018 年度 名古屋鉄道 設備投資計画

～鉄道事業を中心に総額 26,217 百万円～

名古屋鉄道では、積極的な成長投資による事業基盤の拡大・収益力の強化の実現に向け、2018 年度設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、鉄道事業については、旅客安全・運転保安工事およびサービス改善工事等に 149 億円、開発事業では、当社沿線地域における不動産開発や、既存の保有施設の改修などに 93 億円、その他においては、IT 機器・システムの更新に 19 億円を投資するなど、総額 262 億円の設備投資を行います。

<主な投資項目>

(鉄道事業)

- ① ホームの安全対策など旅客安全・運転保安工事の推進・継続
- ② 一部特別車特急車両 6 両および通勤型車両 16 両新造
- ③ 駅バリアフリー化やインバウンド受入環境整備などサービス改善工事

(開発事業)

- ① 当社駅における商業施設の開発
- ② 当社沿線地域における賃貸マンションの建設

鉄道事業 [14,932 百万円]

鉄道事業では、①ホームの安全対策や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に 88 億円、②一部特別車特急車両(6 両 1 編成)および通勤型車両(16 両 4 編成)の新造のほか、③駅バリアフリー化やインバウンド受入環境整備などサービス改善工事等に 61 億円の計 149 億円を投資します。

1 旅客安全・運転保安工事(8,831 百万円)

(1) ホームの安全対策

- 視覚障害のあるお客さまのホーム転落防止対策として、内方線付き点状ブロックの整備を進めます。
- 名古屋本線 金山駅において、ホームドア設置に向けた検討を行います。
- ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる危急知らせ灯を増備します。

(2) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、3カ所で高架化工事を実施します。



知立駅付近高架化工事



喜多山駅付近高架化工事



布袋駅付近高架化工事

	路線名	区間	距離	除却踏切数
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km	2箇所
	三河線	重原駅～三河八橋駅間	3.4km	8箇所
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km	8箇所
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km	6箇所

(3) 踏切道保安設備の新設・更新

- 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置、踏切遮断機の更新などを行います。

(4) 災害対策の推進

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を大曽根高架橋などで実施します。

(5) 土木施設の改良

- 列車の乗り心地の向上を図るため、津島線などにおいて、まくらぎのPC化を実施するほか、列車走行音や振動を軽減するため、名古屋本線 本宿駅～名電長沢駅間でロングレール化工事を実施します。

(6) 電気施設の改良

- 安定した電力供給を図るため、新一宮変電所、石仏変電所、矢作変電所など沿線各所で電力設備を更新するほか、き電線の増強・改良などを実施します。
- 保安度の向上を図るため、転てつ機と信号機の動作を制御する連動装置を更新するほか、列車無線基地局を更新します。

2 サービス改善工事等(6,101 百万円)

(1) 車両の新造・リニューアル

- 一部特別車特急車両 2200 系を 6 両(6 両組成×1 編成)新造します。
- 通勤型車両 3300 系を 16 両(4 両組成×4 編成)新造します。
- 一部特別車特急車両 1200 系のリニューアルを 18 両(6 両組成×3 編成)で実施し、車内環境の刷新(トイレの洋式化・座席の更新など)および外観デザインの変更を実施します。



2200 系



3300 系



1200 系

(2) インバウンド受入環境の整備

- 2000 系(ミュースカイ)の車内案内表示・自動放送の4カ国語化(日本語・英語・中国語・韓国語)を実施します。
- 無料 Wi-Fi サービス「MEITETSU FREE Wi-Fi」の提供エリアを現行の4 駅から 35 駅に拡大します。
- 駅トイレの洋式化を推進します。

(3) 駅改良・バリアフリー化工事

- 西尾線 南安城駅(安城市安城町的場 41 番地 2)、羽島線 新羽島駅(羽島市舟橋町宮北一丁目 1 番地 1)のバリアフリー化を実施します。
- 各務原線 新那加駅(各務原市那加新那加町 27 番地)、小牧線 小牧口駅(小牧市大字北外山 1897 番地 2)のバリアフリー化に着手します。
- 名古屋本線・常滑線 神宮前駅(名古屋市熱田区三本松町 18 番 1 号)において、昨年度からの継続工事として、曲線改良やホーム改良工事を推進します。
- 三河線 碧南駅(碧南市中町五丁目 48 番地)、津島線 木田駅(あま市木田道下 54 番地 2)の駅舎建て替えを昨年度からの継続工事として実施します。

(4) 異常時対応力の強化

- 異常時の輸送力を確保するため、犬山線 下小田井駅付近に折り返し設備(上下線をつなぐ渡り線)を整備します。

(5) 女性従業員用宿泊施設の整備

- 女性従業員の更なる活躍を推進するため、女性従業員用宿泊施設を整備します。

開発事業 [9,368 百万円]

- 当社沿線の常滑駅前、大曽根駅、江南駅西口において、商業施設の開発を実施します。



常滑駅前商業施設(イメージ)



大曽根駅商業施設開発計画(イメージ)

- 当社沿線の太田川駅、大曽根駅近くに賃貸マンションの「meLiV 太田川」「meLiV 大曽根」を建設し、meLiV シリーズの賃貸マンションとして計 5 棟となるほか、当社沿線地域における不動産の開発や取得などを進めます。

その他 [1,916 百万円]

- 名駅再開発の具体化に向けた計画の推進を図ります。
- IT 機器・システム更新などを図ります。

※名古屋鉄道を含む 2018 年度の名鉄グループ設備投資計画額は、66,108 百万円。

以 上